

令和4年度 四万十森林管理署の重点施策

～ 地域の林業成長産業化に向けた取組 ～

令和 4 年 4 月

四万十森林管理署

① 木材の安定供給への取組

- 令和4年度の原木生産量**62,000m³**を確保
- 四万十市竹島及び四万十町松葉川土場の中間土場を活用した民有林と国有林の連携による国産材の安定供給を推進

■ 生産事業現場の様子
(黒尊山国有林)



■ スtockヤード(土場)の整備箇所



■ 竹島土場
(四万十市竹島)



② 地域の安全・安心を守る災害・治山対策の強化

- ・豪雨等により被災した荒廃山地の早期復旧及び緑の国土強靱化や既存施設の機能強化・長寿命化に取り組んでいます。
- ・平成30年7月豪雨等被災箇所の継続的な治山事業の実施はもとより、今後においても迅速かつ適切な治山対策を進めてまいります。

■大月町の災害現場



■令和4年度事業予定

	治山事業	
予定箇所	奥足川山(宿毛市)	
	糺ヶ瀬山(四万十町)	
	大谷山(四万十市)	
	上足川山(四万十市)	
	大森山(三原村)	
	篠生津山(大月町)	
	障子ヶ峠山(四万十町)	
	深谷灘山(中土佐町)	
	不入山(津野町)	
計	9箇所	



※下線は令和4年度新規地区
※赤字は翌債繰越工事

③ 地域の森林・林業を担う人材育成

林業技術に関する「現地検討会」や「ドローン講習会」を開催し、市町村、林業事業体等の技術力の向上を推進

令和4年度現地検討会の開催計画

予定月	検討会	場所
9月下旬	ナラ枯れ被害防止対策現地検討会	鷹取山国有林 梶原町民有林
11月上旬	列状間伐実施箇所の現地検討会	宿毛市

※ 上記は、現地事情や事業進捗状況等により追加や変更する場合があります。

現地検討会・ドローン講習会等の様子



入野松原再生計画現地検討会（黒潮町主催）



ICTを活用した森林調査講習



ドローン講習会

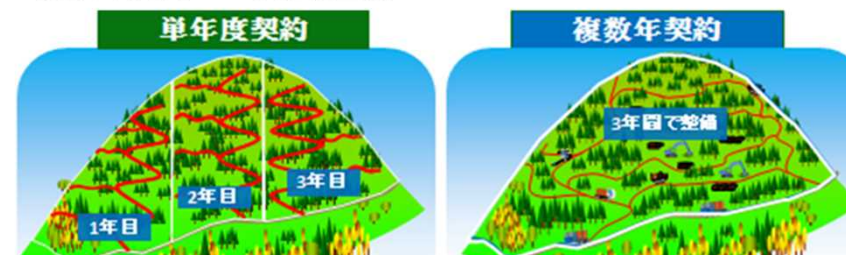
④ 林業コスト削減対策

- ・ 一貫作業システム(伐採・搬出から植栽の作業を一括契約)を実施(立木販売と造林の混合契約)
- ・ 複数年契約(これらの作業を複数年(3年以内)で契約)を実施
- ・ 下刈りの省力化(隔年下刈り等)・弾力化(作業期間を6～12月に拡大し冬期間も下刈を実施)
- ・ 列状間伐の導入
- ・ 樹木採取権制度への取組(立木を一定期間、安定的に伐採できる権利)

■一貫作業システムと従来システム



■複数年契約による森林整備



■列状間伐の様子(三原村 貝ヶ森熊越山国有林)



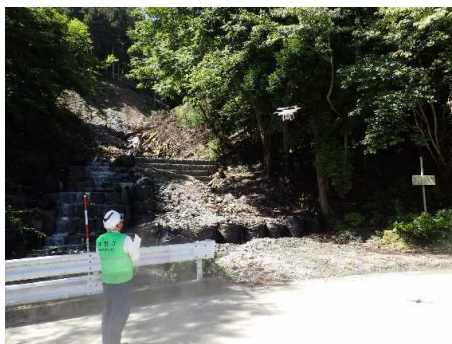
■令和4年度 複数年契約実施予定地区等

複数年契約	樹木採取権
・ 梶原町 久保谷山(104ha R4～R6年度)	・ 四万十町 相ノ峠山 約3.60ha
・ 四万十町 橋川原山(83ha R4～R6年度)	・ 中土佐町 下ル川山 約5.00ha
混合契約	
・ 四万十市 掃地山 5.63ha	

⑤ ドローン・ICTの新技术の積極導入

- ・ ドローンを6台保有し、本署・森林事務所へ配備することで、森林資源調査の他、山地災害発生時の対応やシカ被害対策等への積極的な活用を実施
- ・ 地上型3Dレーザースキャナー(OWL(アウル))を活用した森林資源調査を行うことで、調査時間と労力削減を図る。

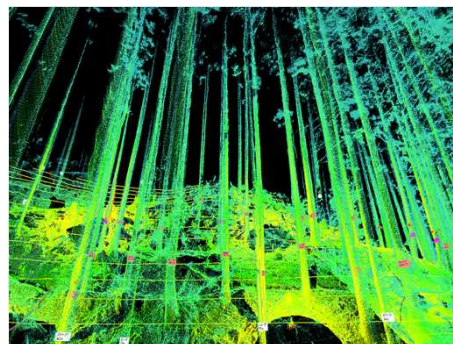
■災害発生時のドローン活用状況



■ドローンを活用したシカネット点検の様子(四万十町)



■OWLによる森林資源解析
(3次元立木マップ)



■OWLの講義の様子
(幡多農業高等学校)



【OWLの特徴】

- ① レーザー光を360度射出しながらレーザースキャナーを180度回転させ、周辺に存在する物体の形状を把握する。
(約4万3千点/秒)
- ② 一脚に据え付けるタイプであり重さが3kg程度であるため、運搬、設置が容易。
- ③ 400㎡(20m×20m)の区域を1人で10分程度で精密に調査できる。
- ④ 3次元点群画像により、林内をリアルに再現。計測者の個人差なしに大量の森林データを短時間で取得可能。



⑥ 夢の早生樹コウヨウザン三世代プロジェクト

- ・ 土佐清水市のコウヨウザン試験地にて、県・森林総研と連携し、コウヨウザンの萌芽更新・育林による生産技術の確立を推進
- ・ 令和4年度に土佐清水市 市宇原山国有林(4.60ha)において、初代林となる10.6千本を植栽

コウヨウザンとは

- 中国・台湾原産のヒノキ科の針葉樹
- 生長が早く、材質強度はヒノキ程度の早生樹
- 切り株から芽が出て萌芽更新で生長するため再造林が不要
(参考)造林経費:地拵え30万円/ha、植栽61万円/ha、下刈75万円/ha
- 土佐清水市に昭和7年に植栽し第二世代が成林している国内唯一の試験地(辛川山0.3ha)
- 第二世代の間伐木の強度は、他の地域のコウヨウザンと同程度、燃焼性はヒノキとほぼ同等



⑦ 地域の課題への対応

- 入野松原(黒潮町)の保全(松くい虫防除対策)
- 「三原米の里多様な森林づくり活動」の推進
- 「土佐備長炭ウバメガシ資源確保プロジェクト」の推進

入野松原(黒潮町)



薬剤地上散布

三原米の里多様な森林づくり



三原米の里多様な森林づくり協定区域

■三原米の里多様な森林づくりのイメージ

人工林でも、斜面上部の成績不良地や施業不適正地は、針広混交林へ誘導

林道から近く施業条件の良い箇所は主伐再造林

沢筋に保護樹帯を設置し、針広混交林へと誘導

